第６回学園運営協議会

2026.2.25

R8 学園運営方針・研究指定

〇学力向上のために、調整授業時間に習熟度別学習や繰り返し学習を行う仕組みは良いと思う。

〇保護者が一番気になる点は下校時刻が早くなる可能性があること。下校時刻に変化はあるのか？

〇生み出した時間の30分は「ひのたんタイム」等で活用するため、下校時刻は基本的に変わらない。

〇学力向上はペーパー学力だけでなく、非認知能力を高めることも必要。それらを両立させたい。

「学園運営に係る委員からの意見」

〇学園で新たなチャレンジをすると聞いてワクワクしている。現実問題として中学校の部活動が減っているため、子供の居場所をつくっていくことが地域の課題である。

〇「学力向上」にこだわりすぎる意見に引っ掛かりがある。「子供の多様性を包摂する柔軟な教育課程」がテーマである。多様性への対応で救われる子供や家庭もあると思う。様々な場面で個性が生かされるようになると、自己肯定感が上がり、その先の人生もよりよくなっていくと思う。

〇来年度から、生み出した時間は子供の学習に還元されるものと思っていたけれど、会議にも充てるとは知らなかった。もともとは授業時間だから、できるだけ子供のために活用してもらいたい。

〇日の里学園の運営協議会の良いところは、委員が当事者として率直な意見を述べているところ。勉強になる。